

<2019年6月21日発表>

博多祇園山笠『九番山笠ソラリア』奉納・披露

～室町時代に躍進した懐良親王とラグビーワールドカップの迫力を描きます～

- 西日本鉄道(株)では、2019年7月1日(月)から7月14日(日)までの期間中、当社が運営する商業施設「ソラリアプラザ」の1階イベント広場「ゼファ」にて、飾り山笠「九番山笠ソラリア」を奉納・披露いたします。
- 本年は、表(おもて)には太宰府をはじめ、天神大牟田線の沿線地域にゆかりのある懐良親王にまつわる物語を、見送(みおくり)にはアジア初開催となるラグビーワールドカップの国内開催都市に縁のある観光名所と、迫りに満ちた選手のプレーを表現します。
- 表の標題…「挙旗筑紫武王門(つくしのぶおうのものにはたをあぐる)」
室町時代、懐良親王は南北朝の動乱期にあつて九州に派遣され、北朝方との戦を制して太宰府に「征西将軍府」を樹立し、明の初代皇帝太祖に使節を派遣し「日本国王」の称号を得るなど、独自の九州王朝を築いた物語を描きます。
- 見送の標題…「世界闘球日本陣(せかいとうきゅうにほんのじん)」
ラグビーワールドカップは、4年に一度開催される15人制ラグビーの世界王者を決める大会です。アジア初開催となる日本大会は9月20日に開幕し、北は札幌市から南は熊本市まで、全国12箇所で48試合が行われ、福岡会場の東平尾公園博多の森球技場では3試合が開催されます。飾り山笠では国内開催都市に縁のある観光名所と迫りに満ちた選手のプレーを表現します。
- 屋内に設置する「九番山笠ソラリア」は、天候を気にすることなくゆっくりとご覧いただけ、毎年多くの来館者の方にお楽しみいただいております。また、山笠にまつわるトークショーを同時に開催いたしますので、ぜひソラリアプラザ1階イベント広場「ゼファ」に足を運んでいただき、博多を代表する祭である博多祇園山笠の迫力をご鑑賞ください。

■ 2019年度博多祇園山笠 飾り山笠「九番山笠ソラリア」奉納・披露について

【スケジュール】	2019年6月24日(月)	棒締め
	6月27日(木)～29日(土)	飾りつけ
	7月1日(月) 10:00～	御神入れ
	7月1日(月)～7月14日(日)	飾り山笠披露

【場 所】 ソラリアプラザ1階イベント広場「ゼファ」(福岡市中央区天神二丁目2-43)

【名 称】 「九番山笠ソラリア」

【標 題】 表 : 「挙旗筑紫武王門(つくしのぶおうのものにはたをあぐる)」
見送 : 「世界闘球日本陣(せかいとうきゅうにほんのじん)」

【製 作 者】 表 : 博多人形師 置鮎 正弘(おきあゆ まさひろ)氏
見送 : 博多人形師 小嶋 慎二(こじま しんじ)氏
山大工棟梁 : 日高 保行(ひたか やすゆき)氏

【その他イベント】 武王の門ゆかりの小郡市、熊本県菊池市及び、九州国立博物館で開催される室町将軍展の学芸員によるトークショー

〔開催場所〕 ソラリアプラザ1階イベントスペース「ゼファ」

〔開催日時〕 2019年7月6日(土)、7日(日) 14:00～15:00(予定)

〔内 容〕 山笠標題解説や武将隊による観光宣伝など

(参考) 飾り山笠「九番山笠ソラリア」 標題解説

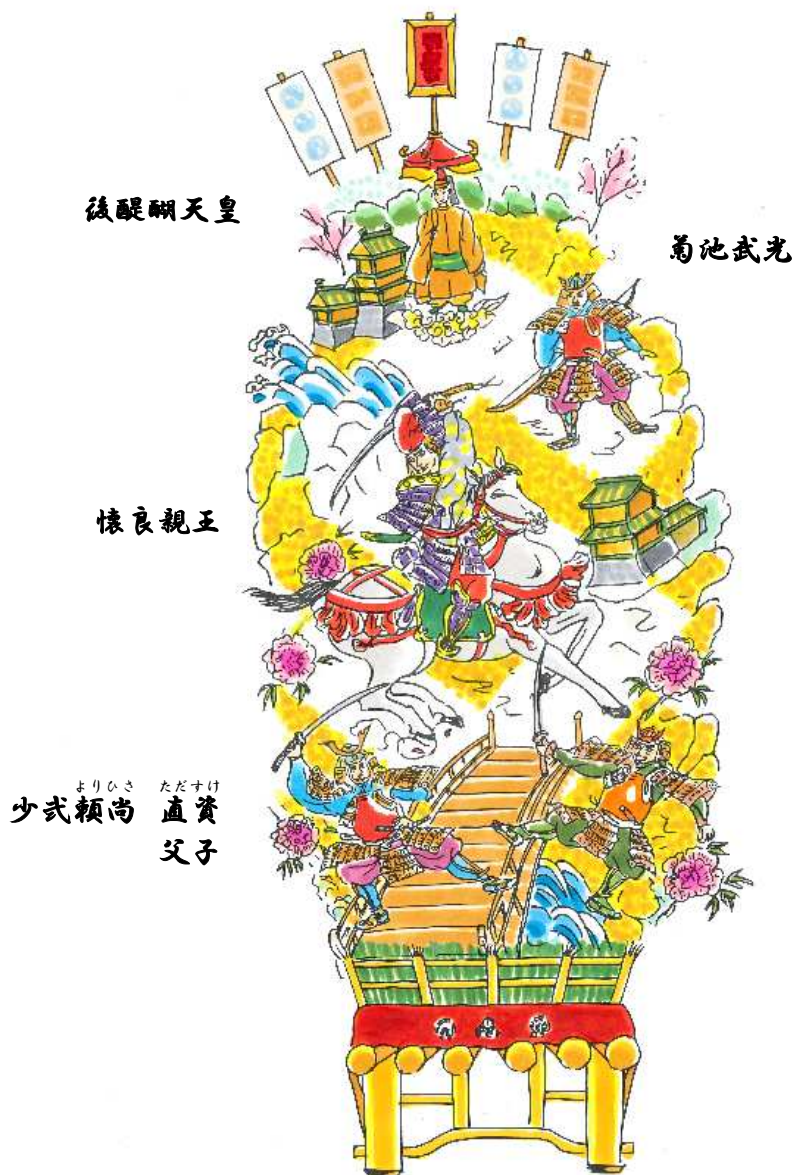
表：「拳旗筑紫武王門 (つくしのぶおうのもんにはたをあぐる)」

懐良 (かねなが又はかねよし) 親王は建武の新政をおこなった後醍醐天皇の皇子で、南北朝の動乱期にあって九州に派遣され、北朝方との戦を制して大宰府に「征西将軍府」を樹立し、明の初代皇帝太祖に使節を派遣し、室町時代に独自の九州王朝を樹立した。2019年は大宰府を制した「大保 (おおほ) 合戦」 (大保原合戦、筑後川合戦) から660年にあたる。福岡の西鉄沿線には軍事拠点とした久留米市の高良山、大宰府奪取の決戦場としての小都市大保、久留米市宮の陣、大刀洗町太刀洗、後に征西府を置いた太宰府市、隠棲の地として伝承のある八女市星野村など多くのゆかりの地がある。

合戦は正平十四/延文四十一年 (1359年) 八月懐良親王、肥後の菊池武光を中心とする南朝方約四万と、大宰府に拠点のあった武藤少式頼尚、直資親子を中心とした約六万の北朝方との総力戦であり、九州最大の合戦であったとされる。この後、闘いに勝利した懐良親王は、正平十六年/康安元年 (1361年) に肥後国隈府 (熊本県菊池市) から大宰府に征西府を遷した。1369年、建国したばかりの中国王朝の明は懐良親王を「日本国王」に冊封し、文中元年/応安五年 (1372年) までの約十年、九州は幕府が関与しない、まさに武王による九州王朝とも呼べる独自の地域となった。

標題の「武王の門」は懐良親王と菊池武光の生きざまを描いた北方謙三氏の小説のタイトルでもある。

登場人物：懐良親王、後醍醐天皇、菊池武光、少式頼尚 直資 父子

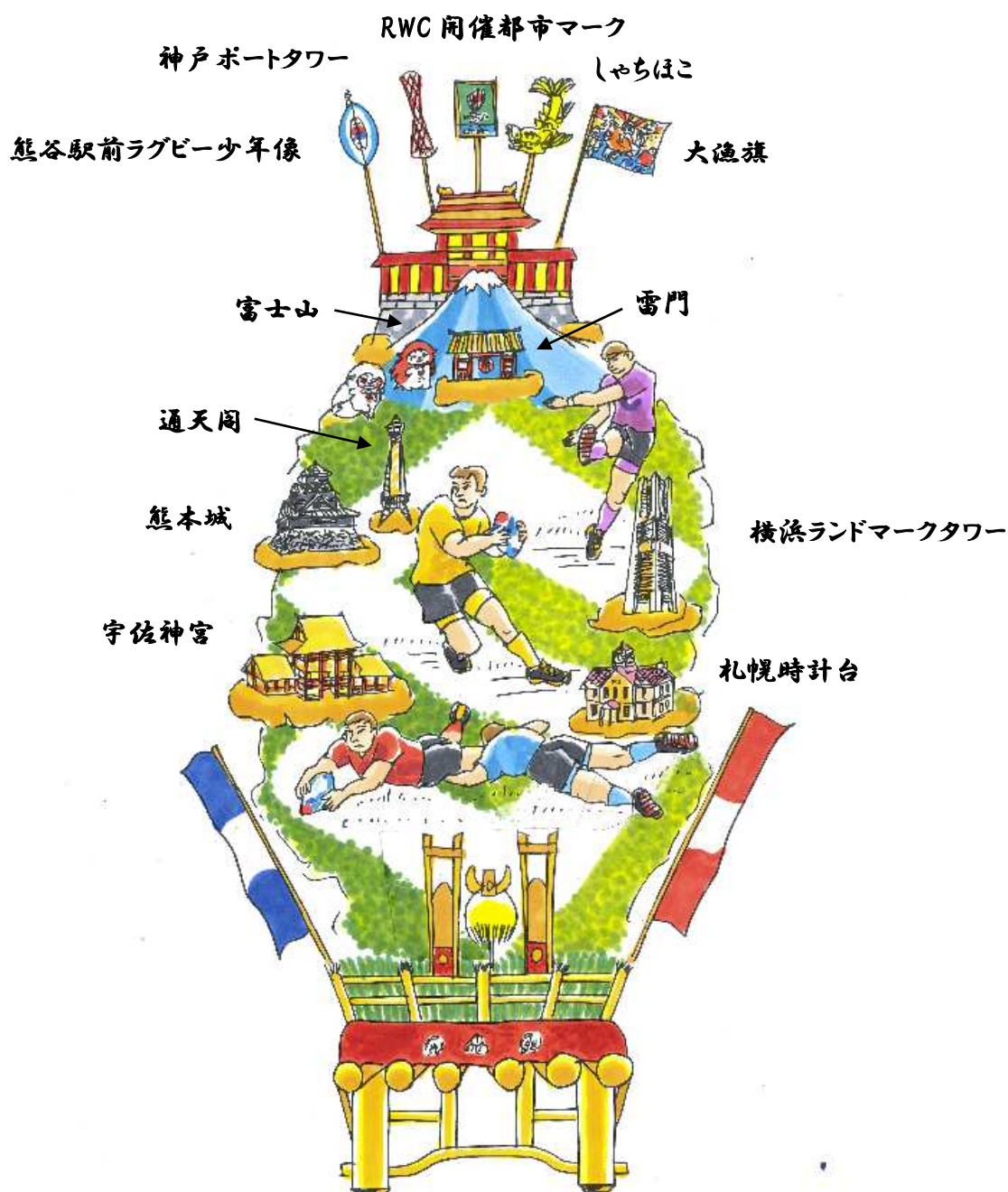


見送：「世界闘球日本陣（せかいとうきゅうにほんのじん）」

ラグビーワールドカップは、4年に一度開催される15人制ラグビーの世界王者決定戦です。アジア初開催となる日本大会は本年9月20日に開幕し、北は札幌市から南は熊本市まで、全国12箇所で48試合が行われます。厳しい予選を勝ち抜いてきた世界の強豪20チームが、優勝杯「ウェブ・エリス・カップ」を目指し、激しくぶつかり合います。

福岡会場の東平尾公園博多の森球技場では「イタリア対カナダ」「フランス対アメリカ」「アイルランド対サモア」の3試合が開催されます。飾り山では、国内開催都市に縁のある観光名所と迫りに満ちた選手のプレーを表現します。

登場地名：神戸ポートタワー(神戸)、しゃちほこ(名古屋)、熊谷駅前ラグビー少年像(埼玉)、大漁旗(岩手)、富士山(静岡)、雷門(東京)、通天閣(大阪)、熊本城(熊本)、横浜ランドマークタワー(横浜)、宇佐神宮(大分)、札幌時計台(札幌)



上記線画は人形師の設計図にあたるもので、出来上がりとは相違がある旨ご理解ください。

令和元年ソラリア山笠記念手拭い(非売品)



作画: 墨絵、陶墨画アーティスト 西元祐貴

本件に関するお問い合わせは、西鉄お客さまセンター(Tel:0570-00-1010)まで